

授業科目 摂食・嚥下障害学演習

【担当教員名】 今井 信行、西尾 正輝		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 摂食・嚥下障害の検査・評価・診断・治療・訓練方法について、実技演習を通して理解する。					
【学習目標】 摂食・嚥下障害学で学んだ基礎知識を、臨床の場で応用できるように実習を行う。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	咀嚼運動、嚥下運動の協調運動				演習
2	摂食・嚥下障害の検査・評価 1. (スクリーニング検査)				演習
3	摂食・嚥下障害の検査・評価 2.				演習
4	摂食・嚥下障害の検査・評価 3.				演習
5	摂食・嚥下障害の検査・評価 4. (頸部聴診法)				演習
6	口腔ケア・排出訓練				演習
7	摂食・嚥下障害のリハビリテーション (間接訓練・直接訓練) 概論				演習
8	先行期障害のリハビリテーション				演習
9	準備期障害のリハビリテーション				演習
10	口腔期障害のリハビリテーション				演習
11	咽頭期障害のリハビリテーション				演習
12	食道期障害のリハビリテーション				演習
13	摂食・嚥下障害のリハビリテーション総括				演習
14	摂食・嚥下障害の訓練プログラムの立案				演習
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		動画でわかる摂食・嚥下障害患者のリスクマネジメント	藤島一郎、柴本勇	中山書店	2009・3,800円＋税
参考書		脳卒中患者の口腔ケア	植田耕一郎	医歯薬出版	1999・4,700円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、レポート、定期試験			【履修上の留意点】		